

福島県

1. 商品名等

商品名	エコニコピーチ	
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)	
 『エコニコピーチ』 を使ったラッシー	「すべての人が笑顔になれる 桃ラッシー」 『エコニコピーチ』は、傷やサイズ基準を満たさない「規格外の桃」を活かし、生産者も消費者も、関わるすべての人々が笑顔になれることを目指して生まれたアップサイクル商品です。 「ふくしま果樹加工考案室」との共同制作により、福島の桃が持つ本来のおいしさと豊かな風味を、手軽に楽しめるドリンクベースとして形にしました。	

2. 学校紹介

学 校 名	福島県立福島商業高等学校	電 話	0 2 4 - 5 5 3 - 3 4 5 1
住 所	福島県福島市丸子字辰ノ尾 1 番地	F A X	0 2 4 - 5 5 4 - 1 5 8 9
担 当 者	渡 邊 貴		
U R L	https://fukushima-ch.fcs.ed.jp/		
E-mail	school@fukushima-ch.fks.ed.jp		
本校は、「信義」「全力」「不撓不屈」の校訓のもと、これまでに3万名を超える卒業生を世に送り出してまいりました。伝統を受け継ぐ卒業生は地元経済界をはじめ全国各地で活躍しており、地域社会から高い信頼を得ています。 本校では「生徒一人一人を真に大切にできる教育」を基本姿勢とし、激動する現代の経済社会に貢献できる人材の育成を目指しています。「情報ビジネス科」「経営ビジネス科」「会計ビジネス科」の3学科の特色を生かし、ビジネスに必要な高度な専門知識・技術と豊かな人間性を育てています。 さらに、全学科で取り組む「課題研究」の授業では、流通・サービスを学ぶ経営ビジネス科を中心に、高校生らしい柔軟な発想とアイディアを活用。地元と連携しながら地域活性化に役立つ活動へ積極的に取り組み、実践的な学びを深めています。			

3. 実施科目等

科 目 名	課題研究(商品開発)	単 位 数	3 単位
対 象 生 徒	3 年生 (3 名)	担当教員数	1 名

4. 予算関係(費用)

地元企業、高校生が考案するということで、企業様のご協力により、コストを抑えながら製造を実現することができました。

5. 開発経緯等

「地球に優しく、みんなを笑顔に」規格外の桃から生まれた『エコニコピーチ』

■ 開発のきっかけと地域課題への着目

課題研究（商品開発班・3単位）を選択した3名の生徒により本プロジェクトはスタートしました。2026年4月、福島市や伊達市で発生した深刻な桃の雹（ひょう）被害を知った生徒たちは、傷やサイズ基準により出荷できない「規格外のモモ」に着目。

さらに、農家さんの「規格外の桃の加工に困っている」という悩みと、販売・サービス業の「福島の特産物を使った商品が欲しい」という双方の声を聞き、加工業の立場から「6次化商品の実現」をテーマに掲げ、「生産者も消費者も笑顔にできるアップサイクル商品」を目指して開発に着手しました。

■ 試行錯誤の末に完成した「桃ラッシー」

伊達市の「ふくしま果樹加工考案室」のご協力のもと、何度も試作と試食を繰り返しました。美味しさはもちろん見た目にもこだわり、桃本来のおいしい味を一番引き出せる絶妙な割合を追及。鮮やかなピンク色と豊かな風味が際立つ商品が完成しました。ヨーグルトと牛乳で割ることで、贅沢な「桃ラッシー」としてお楽しみいただけます。商品名の『エコニコピーチ』には、「地球に優しく（エコ）」、「みんなに笑顔（ニコ）になってほしい」という生徒たちの強い願いが込められています。

■ 完成報告と生徒たちの成長

2026年9月1日には生徒たちが福島市役所を訪れ、市長へ商品の完成と取組の成果を報告しました。試飲された市長からも「うまい！」と絶賛のお言葉をいただき、自分たちの取組が形となった手応えを得ることができました。

6. 販売形態・期間

有
・
無

福島駅や県内外イベント等でも販売実績があり、今後も生徒による販売を継続。

7. 協力者等

有
・
無

問い合わせ先：ふくしま果樹加工考案室
・ SNS : <https://lit.link/kajuco>
(福島県伊達市保原町市柳町5-1)

8. 商標登録の有無

有
・
無

今後取組予定

9. 今後の課題・展望等

賞味期限が1年間あるため季節を問わず桃の風味を味わえる利点がある一方、開封後は冷蔵保管が必要となるため、適切な保存方法の周知が今後の課題となります。今後は福島市内の商業施設やホテル等での販売を予定しており、地域の魅力を届ける商品としてさらなる展開を目指します。